

Handle with care — 塩化ビニルレザー及び合成皮革の一般的なお取扱い上の注意 —

このサンプル帳商品をご使用いただくにあたり、商品の性能を十分に発揮させ、安全にご使用いただくために、下記の説明を必ずお読みください。

塩化ビニルレザーのお取扱い上の注意

1.) 異材との接触注意

可塑剤(レザーの風合いを決める材料)の移行により下記の例のような不具合が生じることがありますので、塩化ビニルレザーの表面に異質な素材が接触しないようご注意ください。

- 本皮やジーンズ等の染料を使用している異質な素材と接触させると、色移りが生じることがあります。また、本皮側の表面に粘着が生じることがあります。
- 別の塩ビ製品・スチロール製品・ABS樹脂・木材塗装面など異材樹脂製品と接触させると、可塑剤の移行により表面ツヤ変化や硬化が生じる一方、別の塩ビ製品・異材樹脂製品にも表面ツヤ変化、ひび割れ、及び変形が生じることがあります。
- 新聞紙や印刷物を接触させると色移りが生じることがあります。
- 粘着テープを貼ると、表面ツヤ変化や粘着が生じることがあります。

2.) 溶剤類との接触注意

加工時に表面清浄用として、ベンジン・アルコール等の溶剤を接触させると、塩化ビニルレザーの表面が融けて、可塑剤の溶出や化学物質の吸収により、表面ツヤ変化・硬化や軟化が生じることがあります。

3.) 表面清浄時の注意

上記溶剤のほか、漂白剤を使用しないでください。漂白剤を使用すると、ツヤ変化や変色が生じることがあります。表面清浄用にはうすめた中性洗剤をご使用ください。

4.) 高温物との接触注意

塩化ビニルレザーをアイロン掛けしたり、ストーブ等の過度な熱源のそばに置かれると、表面ツヤ変化・絞変化・表面粘着・変形・変色が生じることがあります。

5.) 縫製加工上の注意

塩化ビニルレザーの硬さや厚みに適したミシン針を使用するようご注意ください。不適当なミシン針を使用した場合、折れてケガをしたり、折れた針が製品の中に入り、使用者がケガをします。ひとつ縫製するごとに針が折れていないかを確認してください。

6.) 半製品の移送上の注意

移送の時に、特定部位にのみ強度をかけたり、引きずったり、他の物との強い摩擦等により、破損・表面異状・絞やツヤの変化が生じることがあります。

7.) 接着剤加工時の注意

- 塩化ビニルレザーの表面や裏面に被接着物を接着させるとき、指定された接着剤や、試し接着し確認された接着剤をご使用ください。不適当な接着剤を使用すると後から剥離したり、塩化ビニルレザーや被接着物のツヤ変化・硬化・変色が生じることがあります。
- 糊引き後の乾燥時、加熱しすぎや加熱ドラム面へ直接接着させると、絞消えやツヤ変化、肌荒れなどが生じる場合があります。製品加工条件(特に温度条件は80℃以下が望ましい)の管理を十分に行ってください。

合成皮革のお取扱い上の注意

1.) 異材との接触注意

下記のように不具合が生じることがありますので、合成皮革の表面が異質な素材と接触しないよう、商品設計や加工時にご注意ください。

- 本皮や生地等の染料を使用している異質な素材と接触させると、染料が移行して色移りが生じることがあります。
- 塩化ビニルレザーと接触させると、その可塑剤の移行により色移りが生じることがあります。

2.) 溶剤との接触注意

トルエン・ベンジン・酢酸エチル・アルコールなどの溶剤を接触させると、合成皮革の表面の損傷・ツヤ変化・溶解・色柄落ち・硬化や軟化・剥離などが生じることがあります。

3.) 表面清浄時の注意

乾拭き、水拭きをしてください。水拭きの場合は乾燥を十分にしてください。水分が残ると加水分解を促進する恐れがあります。溶剤類のほか、漂白剤も使用しないでください。

漂白剤を使用すると、ツヤ変化や変色が生じることがあります。

4.) 接着剤加工時の注意

- 合成皮革の表面や裏面と被接着物とを接着させるとき、指定された接着剤や、試し接着し確認された接着剤をご使用ください。不適当な接着剤を使用すると後から剥離したり、合成皮革や被接着物のツヤ変化・硬化・変色が生じることがあります。
- 糊引き後の乾燥時、加熱しすぎや加熱ドラム面へ直接接触させると、絞消えやツヤ変化、肌荒れなどが生じる場合があります。製品加工条件の管理を十分に行ってください。

5.) 方向性による外観不具合の注意

スエード及び植毛タイプは、見る方向で色相が異なって見える場合があります。方向性を考慮して裁断加工してください。

その他の注意

1.) 荷扱い時の注意

- レザーのロール状原反は重量物なので、人手による荷扱いにはご注意ください。また、フォークリフトなどへの過積載や片積みは危険です。絶対にお止めください。
- 輸送、保管時には荷崩れ防止策を講じてください。多段に積むと荷崩れを起こしやすく、けがをすることがあります。
- 原反はトラックの荷台など高いところから落とさないでください。原反に傷が付くだけでなく作業員がけがをする恐れがあります。

2.) 保管時の注意

- 原反に傷・クセ・シワなどを付けないよう、置き方に注意してください。
- 直射日光の当たる場所に保管しないでください。硬化や表面ツヤの変化、収縮などが生じることがあります。
- 高温・多湿のところや水のかかるところに保管しないでください。表面ツヤの変化や色落ち、カビの発生が生じることがあります。
- 一般ビニルレザー及び合成皮革は燃焼時に有毒ガスが発生します。家庭で燃やさず産業廃棄物令に従って処理してください。
- 一般ビニルレザー及び合成皮革は水・カビ・光・熱によって経時劣化が生じます。用途に適した耐経時劣化性を有する商品をご使用ください。

メンテナンス

汚れ落としは基本的に下記の方法で行ってください。

- 1.) 柔らかく清潔なウエス(布)で乾拭きする。
- 2.) 清潔な水もしくはぬるま湯を含ませたウエスで水拭きする→乾拭きする。
- 3.) 水もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取る→水拭きする→乾拭きする。

※商品及びご使用方法について不明な点がございましたら、弊社営業員にお問い合わせください。

人工スエード

- 1.) 人工スエードの基布は見る方向で色相が異なって見えます。方向性を確認して裁断、縫製してください。
該当商品：ラムース[®]等
- 2.) 軽い汚れには中性洗剤をぬるま湯で10倍程度にうすめて軽くたたいてください。
- 3.) ホコリなどの汚れにはエチケットブラシで軽くブラッシングしてください。
- 4.) 表面に直接アイロンを当てますと表面形状変化が生じる場合があります。
- 5.) 水洗いをする場合は、中性洗剤をお使いください。塩素系漂白剤による漂白はできません。洗剤が残らないようにすすぎを充分にし、日陰で吊り干しにしてください。
- 6.) 必ず反内縫製をしてください。
- 7.) 一方向に延反、型入れしてください。
- 8.) 縫直しは避けてください。
- 9.) アイロンマット・当て布は、共布か、フェルト等、布目のない物をご使用ください。